



会 議：国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）海上安全分科委員会（SC 1）救命作業部会（WG 1）セントジョンズ会議

開催場所：National Research Council of Canada (NRC) Memorial University Campus：カナダ、セントジョンズ島

会議期間：2019年10月29日～31日

参加者：リエゾンを含む6カ国2機関21名

海技研からの出席者：宮崎恵子：国際連携センター副センター長

#### 概要：

ISO/TC 8/SC 1/WG 1（以下、WG 1 と記す。）は、9月17日に新規規格提案（NP）投票で承認された極海域における個人用及びグループ用サバイバルキットの規格に関して、NP投票時の各国コメントを審議した。

#### 主な貢献

宮崎は、NP投票で承認された極海域における個人用及びグループ用サバイバルキットの規格に関して、これまでの調査研究のWG 1への提出文書等に基づく知見を提供し、審議に貢献した。また、プロジェクトリーダー（PL）として、前回2019年5月のロンドン会議後にガス膨張システムの規格が制定されたことを、WG 1メンバーに報告するとともに、メンバーの協力に感謝の意を述べた。



ISO/TC 8/SC 1/WG 1 セントジョンズ会議参加者

#### 主な審議結果

主な審議結果は以下の通りである。審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

#### 1 ISO/DIS 15738 膨張式救命設備のためのガス膨張システム（改訂）

本規格が制定されたことが報告された。

#### 2 ISO/DPAS 23678 救命艇、救助艇、進水装置及び離脱装置の整備者の訓練内容と認証シリーズ

英国が PL を務める本規格シリーズは、国際海事機関（IMO）の救命設備の整備者の認証に係る決議（MSC.402(96)）に関係する、整備者の訓練内容と認証等の規格である。このIMOの決議の要



件が発効する 2020 年 1 月に間に合うよう、通常の規格よりも早く発行できる公開仕様書 (PAS) として作成を進め、2019 年 5 月 19 日に PAS 原案の投票 (DPAS 投票) が終了し承認された。しかし、ISO 適合性評価委員会 (CASCO) から意見があったことから、SC 1 幹事、WG 1 議長 (コンビーナ) 及び PL が 9 月 27 日に web 会議により対応を検討しており、今次会合では DPAS の修正状況が報告された。

本規格シリーズは、人員の認証を実施する組織の要件に関する規格である ISO/IEC 17024-12 に則ることが望ましいが、製造者のマニュアルを使うといった特殊性があり、完全に合致することは難しい。よって、上記 web 会議の結果、CASCO からの意見に基づき、ISO/IEC 17024-12 を引用規格から参考文献に変更修正することが報告された。

また、評価者に関する修正について審議した。今後は、SC 1 幹事、WG 1 コンビーナ及び PL が本規格シリーズの内容は変更せずに調整を行った文書を ISO 中央事務局に提出し、PAS として発行される予定である。

なお、本規格シリーズは、PAS から国際規格 (IS) の作成に作業が移行し、次の段階として PL は委員会原案 (CD) 投票への準備に取りかかることとなる。

### 3 ISO/WD 24452 極海域における個人用及びグループ用サバイバルキット

本規格はカナダが PL を務め、9 月 17 日に終了した NP 投票時の各国コメントについて審議した。WG 1 コンビーナからは、サバイバルキットの各用品は細かい仕様とせず、機能要件として記述したい旨が述べられた。また、今次会合から初めて WG 1 に参加したエキスパートから、試験方法について質問があり、WG 1 コンビーナと宮崎から、これまで日本が実施した調査研究の WG 1 への提出文書等を説明し、極海域において試験温度が変わる試験や氷結が関わる試験について知見を共有した。さらに、極海域におけるサバイバル実海域実験等を実施したカナダの研究者らから、シェルター等で確保すべき温度や食糧に関する知見が述べられた。今後は、これらの審議に基づき、PL 及び WG 1 コンビーナが、各国コメントへの対応を作成し、WG 1 に回章される予定である。

### 4 その他の ISO 規格の状況

英国が PL を務める「ISO/DIS 21195 船上からの落水者の検知システム」及び「ISO/AWI/PAS 22757 客船の避難の際の人の位置特定システム」は、文書の提出はなかったが、PL から、規格原案の内容と対応状況が説明された。

### 5 テクニカルツアー

今次会合では、会場の National Research Council of Canada (NRC) Memorial University Campus にて氷海試験水槽等の実験施設、Virtual Marine 社にて救命艇のモーションプラットフォーム付シミュレータ及びバーチャルリアリティ技術による救命艇のシミュレータ、Fisheries and Marine Institute of Memorial University にてフルミッションシミュレータ及び救命いかだを用いたサバイバル訓練等の各種テクニカルツアーが実施された。

### 6 次回会合

次回の SC 1 及び同 WG 1 会合は、2020 年 5 月末に、東京近郊で開催される予定である。